

YO-U

瓊



2020. 6. Vol.20 No.2 Summer

勾玉集



井上曜子

梅咲いて幸せなんぼ夢なんぼ
赤椿パンデミックは背後から
小さき人れんげの海を跳ねる魚

太田沙良

春灯鶏ガラ十羽ひとからげ
ついてくる雲早春というかたち
三月の匂い奥の間開く匂い

大槻春美

お茶の葉を蒸らす二分や花鹿
長閑さやピーナツバター厚く塗る
コクリコや競歩選手のしなしなと

高貴美子

余寒来るたましひを抜かれぬよふに
三極の花に十字架壺に十字架
マント脱ぐなんやかんやとありまして

後藤晴美

コロナ禍を饒舌となる豆の花
変わりたい扉を開けて四月尽
通草咲いて隣は猫の大欠伸

佐々木麻里

春や春どつきり誰もいない街
自粛要請いつまで続く春の月
虫出しの雷がごろごろ家籠り

佐藤千重子

切株の醍醐の森のひこばゆる
探検が遠足になるお弁当
寝坊助の猫の菊千代花曇り

勾玉集を詠む

はしもと風裡

○小さき人れんげの海を跳ねる魚

曜子

中七下五ステキ。小さき人に戻りたし。

○ついでくる雲早春というかたち

沙良

雲のかたちに早春をみつけた。

お茶の葉を蒸らす二分や花朧

春美

案外長い二分。おいしくいたたくためにはね。

○余寒来るたましひを抜かれぬやうに

貴美子

なにか来ても！

○コロナ禍を饒舌となる豆の花

晴美

時事詠の成功例。豆の花との取合わせ、いいね。

春や春どつきり誰もいない街

麻里

見たことがない街の様子。どつきりが効果的。

寝坊助の猫の菊千代花曇り

千重子

とろーりとろーり菊千代クン。

爺さまとミモザ片手にフラワーデモ

由紀子

声を上げはじめた女性たちを応援します。

○ワイン含むまつたり春の地中海

好美

日帯を離れまつたりしたいなあ、コロナ禍最中。

アーケード通り抜けたる初燕

信子

目にしたら何かいいことがありそうですね。

○雉鳩が土鳩に混じる花吹雪

保江

よく見えていますね。

○似た人に逢ふ木蓮の曲がり角

多津子

思わずふり返る。美しい木蓮の花の下で。

美容院と医院の話花の昼

夏子

のどかな時間を…はい、思い当たります。

ライオンのいない二月の動物園

和代

見たかったのに。ライオンどこ行った。

堀の水ゆるり動かす春の風

ひむれ

ゆるり、水の動きが見えろよう。

童謡の流れる動画雛祭

了子

現代版雛祭。

○もう一把足す段取りや水菜鍋

一代

皆の手が水菜に伸びます。シマキシマキ。

○着信の久々の名や黄水仙

くみこ

懐かしい、なんだろう、瞬間様々な思いが。

くだけ散る波なだれ咲く野水仙

美津子

この景、私は北陸で。美津子さんはどこで？

なるようになっていくでしょ花筏

洋子

努力ではどうにもならないこと数多。放念。

○思い出は日ごと更新山菜蕨忌

さくら

さくらさんの日々の充実ぶりが見えろよう。

うちのタマ春を探しに行つたきり

いろは

タマは春を連れて帰ってきましたか。

○土筆ツクツク時の証を見つけたり

久美子

オノマトペいいね。そこそこ土筆が出てくる。

桜・2020

はしもと 風里

今年また桜の下に立つ快樂

不整脈とくんと彼岸桜かな

花のまえゆらゆら影の来て座る

花の車窓ページ進まぬ本ひざに

辻棲をどう合はせよう桜東風

少年に桜と対話する時間

花盛り育てたように育ちけり

顔洗ふ脳裏に桜吹雪かな

花吹雪自分を好きになる呪文

地を染めてほとほと降るよ桜蕊

ラッタッタ

辻 水音

切株にわづかな湿り昼蛙

早くから遮断機下りく小鳥くる

ゴムホースいぬふぐり野を大うねり

何の墓かしらこんもりと春の土

川温むあぶくあぶくと別れがた

ほらそこに寡黙な父が田を鋤きぬ

蓬摘むあねおとうととラッタッタ

「ほほの木有ります」蝶生まれます

青き踏むだんだん離る目的地

神仏は頼らずにいこ蜷の道

しなやかに

松井 季湖

命日の近づく庭の雪中花

人差し指で叩く鍵盤春の雪

女雛ちよつとそつぽをむいておる

冴返る江戸疾走の夢絶たれ

去る人の肩に弾けて春霰

春の湯に母とおっぱいほめ合えり

一步踏み出せ春泥は深けれど

糸柳揺るしなやかに生きよとて

催花雨にあなたの声がしたような

揚雲雀無性にちちに会いたき日

豆餅

つじ あきこ

魂のひーとつふたつ花菜畑

春の森背伸びしている声がする

本棚にむかしむかしの春の夢

花の山廃校の門開放す

さくらさくら双子でやっとなの子

診察券の河馬が口開く花の昼

さくらさくら豆餅諦めて帰ろ

飛花落花時間たっぷり生きている

私の影の後ろを春の夜

春の暮昨日の雨の匂いする

嫁菜日和

火箱 ひろ

佐保姫の吐息桃色ふつと風

ちようちよちようちよ緊張感が足りないぞ

蛇穴を出る言い訳が食い違う

春の蠅山中教授に叱られる

花散らす雨の豆腐屋まんじゅう屋

遠い日が桜の雨に濡れている

スーパームーン桜咲く星照らしあう

二千年私を待っていた桜

嫁菜よめな嫁菜日和という小道

春風の墓友うっちゃん石川くん